

生涯学習・社会教育

生涯学習による人づくり、まちづくり

だれもが主体的、自発的に「学び・発表・交流」することができ、学習の成果を活かすことのできる生涯学習環境づくりを推進します。また、地域社会のさまざまな場面において、学習を活かして活躍できる人材の育成を図ります。

1. 生涯学習活動の推進

- ① 生涯学習による人づくりを通じてまちづくりを進めるため、生涯学習推進懇談会等の推進組織の活性化、時代に即した「生涯学習推進計画」の策定を進める。
- ② 生涯学習社会を支える人材の育成や、生涯学習で学んだ成果を社会に活かせるような講座など、特色ある各種生涯学習事業に取り組む。
- ③ 生涯学習グループが学習成果を発表し、交流と生涯学習の重要性を啓発する「つやま生涯学習まつり」や生涯学習の成果を子どもにかかわる取り組みに活かす「津山市子どもまつり」などを開催する。
- ④ 学習情報を提供するため、学習情報誌「まなびい」の発行や、生涯学習情報提供システムの活用を図る。

2. 公民館等の整備

生涯学習の地域の拠点となり、住民が学び合い支え合えるまちづくり拠点となるよう公民館を整備する。

- ① 福南公民館の復旧は平成21年8月末の竣工を、加茂町公民館の整備は平成22年3月末の竣工を目指す。
- ② 久米公民館整備については引き続き整備検討委員会で検討を重ね、年度内の結論を目指す。
- ③ 津山婦人青年の家、広野公民館をはじめとする生涯学習施設の改修を行い、施設整備を図る。

3. 学社連携・融合の推進

生涯学習で身に付けた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくり、地域の教育力によって学校を支援する仕組みづくりを構築し、学社連携・融合の推進を図る。

- ① 学校支援ボランティア制度の広報、登録者の増加、登録者の研修・スキル向上を図る。
- ② 学校支援地域本部事業への取組を推進する。
- ③ 地域住民が学校への理解・協力を深めることができる取組を行うとともに、学社連携・融合への理解を図る。

4. 地域課題への取組強化

- ① 地域の課題解決という目標を見通した学習と活動を公民館主催講座などで促すことにより、また公民館を拠点とした地域づくり人材育成事業を通じて、住民の意欲を高めて、公民館等を住民と行政を結ぶ地域振興拠点として機能させる。
- ② 地域住民のニーズを理解し、「生涯学習リクエスト大学」の講座メニューを充実させ、生涯学習機会の拡大と活用を図る。

5. 子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進

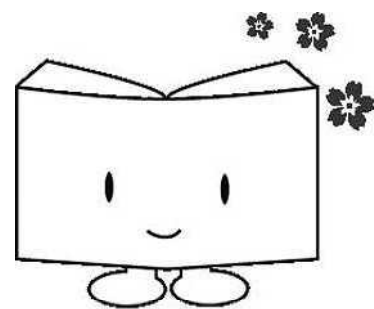
家庭、地域の教育力向上を図るため、「津山っ子育成アピール」の趣旨を受け、学校教育部門、健全育成部門、こども施策部門と協力して支援に取り組む。

- ① 第2次津山市子ども読書活動推進計画に基づき、子ども読書活動の広報啓発、「つやまっ子読書プラン推進事業」などの各種事業の推進を行う。
- ② 家庭の教育力向上を図るため、津山市家庭教育協議会の開催など「つやまっ子家庭教育推進事業」に取り組む。
- ③ 放課後子どもプランに基づいた事業を、関係部門と連携して推進する。
- ④ 子ども会活動の活性化を図り、学校、家庭、地域の密接な連携を図る。

6. 図書館サービスの向上

生涯学習社会の醸成に向けて、市民の多様な学習活動を支援するため、図書館資料及び情報の充実、他の図書館との相互利用を図り、地域の情報拠点・学習拠点として、図書館サービスの向上に努める。

- ① 生涯学習社会、高齢化社会、情報社会の中で、市立図書館は市民が心豊かで充実した生活ができるよう、資料や情報を収集・提供して市民の多様な要望に応える。また、互いの学習意欲を刺激し合い、知識を交換する場、ふれあいの場とする。
- ② 図書館資料を計画的に整備し、特に子どもの読書活動推進のために児童図書の充実を図る。また、郷土資料、行政資料を収集保存して、郷土の英知・文化を蓄積し、津山の歴史と文化を再認識する拠点施設とする。
- ③ 図書館運営にあたっては、幅広く質の高いサービスに努め、自動貸出・返却システムの導入やサービス体制の検討、ボランティアなど市民参加の促進を図る。
- ④ 自動車文庫車両「ぶっくまる」を更新し、市内全域への巡回サービスの充実を図る。



つやまっ子読書プランキャラクター
ぶっくちゃん